

★通常事業評価シート【R7年度実施事業／市民健康部市民課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	国民年金事務事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	老後の生活基盤である年金を確立するため、適切に国民年金事務を行う。	老後の生活基盤である年金を確立するため、適切に国民年金事務を行った。	5：達成した	再編	1,560	37,034	38,594	年金事務所と連携を取り免除申請や納付の案内を行い無年金者となる事防ぐ。また年金機構より貸与された端末を使い適切な年金相談を行う。	年金事務所では出来ないことを除き、市役所窓口でもできることを増やし市民の利便性を向上する。	厚生年金の未支給年金は積極的に市の窓口で受け付けを行った
2	市営葬儀運営事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	簡素かつ低廉で厳粛な葬儀及び火葬を提供するため、市営葬儀を適切に行う。	簡素かつ低廉で厳粛な市営葬儀を執行した。	5：達成した	継続	21,933	27,541	49,474	市営葬儀を行える施設が市になく、件数も年々減少している。	需要がある限り、引き続き低廉で厳粛な市営葬儀を行う。	
3	斎場管理事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	斎場の施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	設備の点検・修繕等を行い、施設管理を行った。	5：達成した	廃止	39,902	3,700	43,602	老朽化が激しく、移動できない火葬炉がある。	令和8年4月1日、新斎場の供用開始。	
4	斎場整備事業 (他課への一部予算再配当事務)	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	斎場の施設機能を保持するため、斎場の整備を行う。	令和8年4月1日供用開始に向け、新斎場の整備が完了した。	5：達成した	継続	1,493,396	7,525	1,500,921	当初計画どおり、旧斎場の環境調査を行ったうえ、令和8年度中に既存斎場の撤去、外構整備等を完了を目指したい。	特になし	
5	住居表示事業 (他課への一部予算再配当事務)	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	わかりやすい住居の表示を市民等に提供するため、住居表示の実施及び、住居表示地区の管理と整備を行う。	尾生町八丁目の住居表示を実施した。	5：達成した	継続	7,168	11,124	18,292	住居表示実施区域の決め方。	町会・自治会と協議のうえ、合意が得られたところから実施していく。	
6	市民課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	待合スペースを広げるため市民課のレイアウトを変更した。また、市民課の庶務全般を行った。	5：達成した	継続	3,509	17,053	20,562	OA系のパソコンが1人1台行き渡っていないため、全員が電子供覧できず、効率が悪い。	供覧は早めに次へ回し、情報共有を図る。	
7	支所管理事業	持続可能で信頼される行政になっている	支所の施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	施設を安全に使用できるよう、適切な管理を行った。	5：達成した	継続	4,297	8,262	12,559	職員2人体制のため、休暇を取る際には市民課の職員が一人必要になる。	各担当のローテーションで体制を整える。	
8	戸籍事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	国籍及び親族関係を登録し、公証するため、戸籍法に基づく事務を適切に行う。	戸籍法に基づき戸籍事務を行った。また、戸籍及び戸籍の附票のシステム標準化に向け、作業を行った。	5：達成した	継続	44,946	76,723	121,669	戸籍法の一部改正に伴う事務の変更やシステム標準化により業務が増加している。また、戸籍への振り仮名通知を終え、正確に戸籍に記録する必要がある。	国からの通知等の確認を行い、業務における改正等について遺漏のないよう業務を行う。	
9	住民基本台帳事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	住民に関する記録を正確かつ統一的に行うため、住民基本台帳法に基づく事務を適切に行う。	住民基本台帳法に基づき住民登録を行った。また、住基システム標準化を行った	5：達成した	継続	19,300	77,544	96,844	通常の住民登録事務に加え、DV等被害者に対する支援措置事務、戸籍の振り仮名の記載の住民票へ影響の確認、マイナンバーカードと在留カード一体化、異動受付支援システムの更新に向けて、調整と業務が多く発生している。	令和8年度のマイナンバーカードと在留カード一体化や異動受付支援システムの更新に向けて、業務を見直していく必要がある。	
10	印鑑登録事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民が使用する印鑑が本人のものであることを証明するため、印鑑登録に関する事務を適切に行う。	印鑑登録事務を適切に行った。印鑑登録システム標準化に伴い、支所・センターとも運用変更について情報共有し、スムーズに移行されるよう務めた。	5：達成した	継続	52	12,121	12,173	即日登録が本庁と山滝支所のみでしかできないため、来庁者が集中してしまう。高齢者などの登録の際の本人の意思表示の確認が難しい。印鑑登録原票の保管場所が業務スペースを圧迫している。	今後も細心の注意を払って登録作業をおこなっていく。	
11	支所・サービスセンター事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民の利便性の向上を図るため、市民の需要度の高い窓口業務を支所及びサービスセンターで実施する。	証明発行等、需要が高い窓口業務を適切に行った。	5：達成した	継続	2,236	3,344	5,580	住民基本台帳事務の異動届等をFAXでやり取りしている。	電子データでのやりとりを検討する。	

★通常事業評価シート【R7年度実施事業／市民健康部市民課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
12	個人番号カード等管理事業	持続可能で信頼される行政になっている	社会保障・税番号制度の普及と市民の利便性向上のため、個人番号カード等の交付及び管理を行う。	個人番号カード等の交付及び管理業務を適切に行った。	5：達成した	継続	156,870	35,734	192,604	令和8年度においては、マイナンバーカードへの氏名の振り仮名・ローマ字氏名の記載、特定在留カード等の発行が開始されるなどの制度改正が予定されているため、取り扱い変更への速やかな対応が求められる。	氏名の振り仮名記載については、支所・市民センターにおいても処理を行ってもらえるように連携が必要。特定在留カード等の発行については、住民担当との連携が必要。	
13	旅券交付事業	持続可能で信頼される行政になっている	旅券を必要とする市民の利便性を図るため、旅券法に基づく事務を適切に行う。	旅券法に基づく事務を適切に行った。	5：達成した	継続	46,917	17,529	64,446	令和8年度においては、旅券手数料が改定が予定されており、取り扱い変更への速やかな対応が求められる。	手数料改定後6か月は、新旧の手数料を取り扱うこととなるため、誤って手数料を徴収することのないよう注意が必要。	